

# 天竜精機株式会社

## 2018年度 環境活動レポート

(対象期間:2018年4月～2019年3月)



作成日：2019年8月28日

## □ ごあいさつ

当社は ふたつのアルプスに育まれた風光明媚な場所に立地し、太陽と月と大地の自然環境豊かな当地で、豊かな緑の大地の恵みを受けた環境にやさしい物作りを目指して、経済発展と環境保全活動に貢献します。

# 環境方針

## <環境理念>

天竜精機株式会社は、効率的な生産活動が地球環境の保全に繋がっていると認識し、全員参加で、環境に配慮した事業活動に努めます。

## <環境方針>

お客様への先進的省力化自動機の供給と、装置の効率的な設計・生産を追求し資源及びエネルギーの削減に努めます。

- (1) 省力化自動機の開発、性能向上の取り組みを進め、お客様の省力化に努めます。
- (2) 装置設計の効率化・標準化を推し進め、省資源・納期短縮を目指します。また、業務品質の向上を行い、設計・工程不良等の後戻り作業を排除します。
- (3) 環境法規、協定を遵守する事はもちろん、周辺環境整備への取り組みを全員参加で行い、環境活動レポートとして情報開示し、地域・社会に受け入れられる企業であり続けます。

## <環境目標>

効率化、標準化の推進と業務品質向上を行い、二酸化炭素排出量(注)を3%削減する

(注)売上げ百万円当たりの二酸化炭素排出量

制定日：2018年1月8日

代表取締役 小野 賢一

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
天竜精機株式会社  
代表取締役 小野 賢一
- (2) 所在地  
本 社 長野県駒ヶ根市東伊那5650番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 品質保証部 小原 秀彦 TEL:0265-82-5111  
担当者 品質保証部 時田 進 TEL:0265-82-5111
- (4) 事業内容  
コネクタ関連自動機、電池関連自動機、実装関連設備の設計、製造、販売
- (5) 事業の規模  
製品出荷額 23億円 (2018年度 2018年4月～2019年3月)  
主要製品生産量 230t (2018年度 2018年4月～2019年3月)
- |       |        |
|-------|--------|
|       | 本社     |
| 従業員   | 113名   |
| 延べ床面積 | 5,885㎡ |
- (6) 事業年度 2018年4月～2019年3月

## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 天竜精機株式会社  
関連事業所： なし
- 対象外： なし  
活動： なし

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年①
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数 *0.516	kg-CO <sub>2</sub>	353,895	310,401	328,568	322,460	304,263
売上100万円当りの 二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /100万円				116②	132②
売上	100万円	2,059	2,091	2,375	2,700	2,300
廃棄物排出量	トン	10	5	15	20	11
一般廃棄物排出量	トン	1	1	1	7	5
産業廃棄物排出量	トン	9	4	9	13	6
総排水量	m <sup>3</sup>	1,214	1,229	1,285	1,588	1,625
化学物質使用量	kg	0	0	0	0	0

①:2018年より、決算期の変更(1月～12月⇒4月～3月)があった為、2018年数値は、2018年4月～2019年3月で記録

②:2017年より、二酸化炭素排出量を絶対値より売上100万円当たりの排出量へ変更の為、2017年より記載。

中部電力実排出係数（2012年）使用（0.516kg-CO2/kwh）

環境目標及びその実績		実績				中長期計画		
		2017年 (基準年度)	2018年 (目標) (実績)		評価	2019年 (目標)	2020年 (目標)	2021年 (目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	261,099	227,344	237,642 104.5%	×	230,239	260,270	272,813
化石燃料の二酸化 炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	62,574	54,562	66,621 122.1%	×	644,476	72,886	84,099
軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	0	0	0		0	0	0
上記二酸化炭素排 出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	323,673	281,906	304,263 107.9%	×	874,715	333,156	356,912
一般廃棄物の削減	kg	7.0	7.0	5.0 71.4%	○	7 140.0%	7 100.0%	7 100.0%
産業廃棄物の削減	kg	14.0	14.0	6.6	×	13 196.4%	15 113.0%	17 115.4%
節水	m <sup>3</sup>	1,588	1,588	1,625	×	1,588 97.7%	1,588 100.0%	1,588 100.0%
化学物質使用量	kg	0.00	0.00	0.00		0 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%

※目標値は各年度売上予算より算出

○ 達成 × 未達成

### 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>		
・業務品質の向上を行い、後戻り作業の排除	△	・CO2の排出量は削減されたが、売上が約18%減の為、目標未達成となった。
<b>化石燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>		
・公共交通機関の利用	○	・不具合での出張の減少、省エネ運転の呼び掛け、公共交通機関の利用により、ガソリン消費量は削減が出来たが、灯油の使用量は増加し、目標未達成となった。
・省エネ運転の推奨	○	
・業務品質の向上による不具合での出張削減	○	
<b>一般廃棄物の削減</b>		
・分別し廃棄業者への売上	○	・月2回の社内見回りを実施し、分別の徹底を継続していく。
<b>産業廃棄物の削減</b>		
・分別化によるリサイクルの拡大	○	・分別化によるリサイクルの拡大と廃棄量の削減を進める。 ・月2回の社内見回りを実施し、分別の徹底を継続していく。 ・廃油、木屑の最終処理を確認した結果、リサイクル処理されている事が分かった。
・廃棄物分別パトロール	○	
<b>社会貢献</b>		
・外部とのコミュニケーション	○	・NHK名古屋放送局の取材クルーが会社見学及び番組取材に訪れた。 全社的な取組、各部署の活動の説明を行った。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属ガス、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン排出抑制法	業務用空調機
水質汚濁防止法	BOD、ノルマルヘキサン抽出物質含有量
工場立地法	指定工場の新設時の届出、記載内容の変更時の届出、緑地面積率の遵守
労働安全衛生法	有害物質に関する規制、名称等を表示すべき有害物、安全衛生管理体制
消防法(危険物)	防火管理者、危険物貯蔵所、取扱所設置の届出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し**

- ・CO2排出量は前年度比約6%減。
  - ・売上は前年比約18%減の為、売上百万円当たりのCO2排出量は前年度比約13%増となり、目標3%減は未達成であった。  
 ガソリンの消費は、不具合出張の減少とエコドライブ推進により前年度比34%削減された。  
 灯油の消費は、稼働時間が増えた時期と使用時期が重なり、前年度比約70%増加した。  
 廃棄物は、生産技術・加工で材料の選定、統一を行い、有価物ではあるが、鉄くずが大幅に減少出来た。
  - 次年度に向けて、下記項目を重点的に取り組み、社会、環境負荷削減へ貢献する。
    - ・省人化機械、IOT機能等の開発を行いお客様の生産性向上を図る。
    - ・原価低減・納期短縮の活動を推進し、業務効率を大幅に向上する。
    - ・クレーム、工程不良等を仕組みから改善し、業務品質を高める。
- これら省人化装置の開発・製作を通じて、社会への貢献をしていきます。

**□環境活動の紹介**

天竜精機は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた、伊那谷の豊かな自然の中で、事業を推進する企業です。  
 太陽光発電フィールドテスト事業の助成を受け、太陽光発電システムを導入し運用しています。  
 この自然の恵みを活用して、太陽光発電システムは年間使用電力量の約15%を補っています。



また、環境活動を生産効率改善に向けた施策として位置づけ、日常的な業務活動にリンクさせて全社で取り組んでいます。  
 具体的には、後戻り作業の削除、作業時間の短縮、納期の短縮を行っています。  
 当社はミッションとして「私たち天竜精機は生産準備の右腕企業です。共に課題に挑戦し、世界中の人々の快適なデジタルライフの発展に貢献します。」を掲げており、環境活動面と技術面の両面で「お客様に選ばれる会社」を目指し取り組んでまいります。

